



# 令和8年度加古川市立加古川小学校 学校経営グランドデザイン ～『ウェルビーイングな学校づくり』～

## 学校教育目標

社会とつながり、自らの人生を豊かに切り拓く児童の育成  
～『なぜ学ぶのか』を未来の自分へとつなぐ～

### 子ども達にとって

学校は「未来を生きる礎を学ぶ場」であること

### 保護者にとって

学校は「安定・安心・安全な信頼できる場」であること

## めざす学校の姿

### 教職員にとって

学校は「働きがいを感じられる場」であること

### 地域にとって

学校は「まちづくりの拠点となる場」であること

自ら学ぶ子

自分に負けない子

## めざす子どもの姿

自分も人も大切にする子

力を合わせる子

## 経営の4本柱と令和8年度指導の重点

### 自律と探究

#### 学びを未来へとつなぐ「自律と探究」

##### ○各教科等におけるキャリア教育視点の導入

全ての授業において「この学びが社会でどう生きるか」を意識づけ、児童の「学ぶ意義」を実感させます。

##### ○「学校・地域（社会）を変えるすごいアイデア」プロジェクトの推進

児童自身が学校や地域（社会）の課題を見つけ、解決策を提案・実行するこのプロジェクトをアントレプレナーシップ教育の中核に据え、失敗を恐れずに挑戦する経験を積ませます。

##### ○キャリア・パスポートの高度活用

単なる記録ではなく、振り返りと見直しを持たせ、次なる学習意欲へ繋げるポートフォリオとして活用します。

### 安全・安心

#### 心理的安全性と自己有用感に満ちた居場所づくり

##### ○多様なキャリア観の受容

一人ひとりの興味・関心や夢を「いいね!」で受け止める風土を醸成し、自分の意見を安心して表明できる心理的安全性を確保します。

##### ○特別活動を要とした自己肯定感の育成

係活動や委員会活動等を通して「誰かの役に立っている」という自己有用感を育み、社会的・職業的自立の基盤を作ります。

##### ○「ほっとる～む」の充実

開設2年目を迎える「ほっとる～む」（校内フリースクール）の周知と、通室する児童のペースを尊重した自立支援に努めます。

### 学校の見える化と 地域参画

#### 社会を教室に。地域協働によるキャリア教育の展開

##### ○学校行事のアップデート

「スポーツフェスティバル」への名称変更と内容の刷新をはじめ、児童が主体的に企画・運営に携わり、保護者や地域社会と直接協働する機会を創出します。

##### ○「加古川ごきげん倶楽部」（かこがわっこブログ）での積極的な情報発信

キャリア教育の実践プロセスや学校が変化していくダイナミズムを、ブログを通じてリアルタイムで地域・社会へ発信し、学校経営への共感と支援の輪を広げます。

### 働きがいと 同僚性の向上

#### 多様な強みを生かす「スクラム指導體制」の確立

##### ○チームによる柔軟な教育実践

「スクラム指導體制」により、教職員同士が強みを持ち寄り、適材適所で児童に関わるモデルを構築します。

##### ○大人のキャリアオーナーシップの体現

教職員自身がやりがいを持って生き生きと働く姿、そしてチームで協働する姿こそが、児童にとって最高のキャリア教育の生きた教材となります。

##### ○「業務改善プロジェクトチーム」を核とした前例踏襲の見直し

学校行事や校内会議の前例踏襲・慣習を常に見直し、真に教育的価値の高い活動へ重点化を図ります。